

改訂 2021. 9



【別冊】

第16回 森のようちえん全国交流フォーラム in 奈良

〈分科会の各講座紹介〉



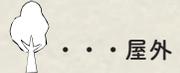
【各講座の紹介】

分科会番号「タイトル～サブタイトル～」
講師名(フリガナ)/(所属)/(プロフィール)
[分科会概要]
[実行委員からのオススメポイント]
カテゴリー×キーワード/野外 or 室内/講座の形式

※森のようちえん全国交流フォーラム in 奈良は
現地開催【曽爾高原 de フォーラム】、オンライン【おうち de フォーラム】 2展開で開催します！
分科会がどちらに移動したか、ご確認ください。

分科会 タイムテーブル

曾爾高原 de フォーラム



下記以外の分科会はオンライン開催となります。詳細は追ってお知らせします。

10/30 (土)		10/31 (日)
13:30~15:00	15:30~17:00	9:30~11:00
再び出会う！新たに出会う！ ~自然を感じ、 自分を見つめる時間から始めよう~	分科会 (DAY 1)	分科会 (DAY 2)
幸せな人と場づくりの最前線！ 森のようちえんの保育から ~HYGGE な時間~ 火や香りや対話を通してマインド OPEN！  Well-being Labo 森のようちえん ウイズ・ナチュラ 	トエック流 聴き合う場の作り方 (子どもとの現場ひいては保護者や スタッフ間など大人との場づくりについて) NPO 法人 トエック幼児フリースクール 自然スクールトエック [トエックのようちえん] 伊勢 達郎 利根清子  	子ども理解で保育が変わる ~ 15 年間迷い続けた保育実践より ~ 森のようちえんピッコロ 中島 久美子 
おとなの森のようちえん 「自然とであう！自然の中で人とであう!!」 森のようちえん えくぼ保育園 寺田 延代  	幸福度と子どもと大人のつながり ~ティール時代の新しい教育 株式会社ガイアックス 木村 智浩 ミュージシャン・マジシャン・翻訳家 大友 剛  	自然経験こそ最上の教育 株式会社ヤマップ 春山 慶彦 
エンパシーウォーク ~曾爾を歩こう~ 国立曾爾青少年自然の家スタッフ  	「森のようちえん全国交流フォーラム in ぎふからその後」 行政とタッグを組むII その時の実践者の心得 ~岐阜と鳥取の取り組みより~ 自然育児 森のわらべ多治見園 浅井 智子 特定非営利活動法人 智頭の森こそだち舎 西村 早栄子  	「森のようちえん」から「小規模特認校」へ ~保幼小中、何がつながるといいの？ 幸せな子ども時代の学びが、 これからの時代を生きる力に~ 一般社団法人 びわ湖の森のようちえん 西澤 彩木 大津市立 葛川小・中学校 澤村 幸夫 上越教育大学 大学院 山口 美和   
プレイパーク体験 呼び起こそう 自分の遊び心を！ 「木で遊ぶ・草を滑る!? 焚き火を知って 気づく場所」 K+キッズ商会代表 プレイワーカー こたやん  	近藤 瞳  	~子どもの「命」と 「自由に遊ぶ権利」を守りたい~ 事故・ヒヤリハットに学ぶ、 自然保育の安全・安心な場づくり ブラムネット株式会社アウトドア共育事業部 渡辺 直史 (ウィル) 
「地球を生きるワークショップ」 地球は私・地球に触れ感じる生き方 * 連続講座です		

【10月30日(土)13:30~15:00】



再び会う！新たに出会う！

～自分を感じ、自分を見つめる時間からはじめよう～

《曾爾高原 de フォーラム》

《リニューアル》

幸せな人と場づくりの最前線！森のようちえんの保育から
～HYGGE な時間～火や香りや対話を通してマインドを OPEN!

ナビゲーター: Well-being Labo (森のようちえんウイズ・ナチュラ)

森のようちえんウイズ・ナチュラの保育スタッフと保護者が主催する、子どもの育ちに携わる大人たちの体験型共創コミュニティ。

教育や子育てはスキルではなく、自分の生き方や在り方そのもの。

大人も子どもも幸福度が高まる保育・教育・社会とは？

様々なワークショップや対話を通して探究しています。

〔分科会概要〕

森での保育には Well-being (ウェルビーイング。個人やチームが、身体も心も社会的にも健康な状態であることを意味する概念) な要素がたくさん詰まっています。

HYGGE (ヒュッゲ) とは？・・・デンマーク語でホッとくつろげる心地よい時間や幸福感のこと。

森の中で感じる自然、そして自分自身とゆったりと対話しながら【今ここ】を取り戻し、森の子どもたちが日々体感している感覚を大人も感じてみることから始めませんか？

ぜひ一緒に、探究 (Labo) しましょう！

自然保育 × 体験/野外/WS 形式

おとなの森のようちえん「自然とであう！自然の中で人とであう！！」

講師：寺田延代(テラダノブヨ)/(森のようちえん えくぼ保育園)

森のようちえん えくぼ保育園園長(企業主導型)

小学校・幼稚園の現場、障がい児者キャンプ・沖縄渡嘉敷島キャンプ・びわ湖キャンプ・カヌーキャンプ・国内外のホームステイ事業の運営、不登校児の居場所づくり、子育てサークルの運営、就活支援、ビジネスマンのリーダー研修講師、人間関係ファシリテーターなどを経て、若者の「自分がない生き方」に疑問をもち、「変革するなら幼少期から」と森のようちえんの世界へ、現在に至る。滋賀県の湖西、比叡山の麓に位置する棚田が有名な「仰木」、びわ湖を望む民家に住み、里山の美しさ、素晴らしさを実感する中で、地域の方々やスタッフと共に、子ども達、若者の「今を生きること」「自分を生きること」をテーマに奮闘中。

〔分科会概要〕

森の中で、子ども達は何を見て、何を感じて、どんな気持ちになっているのか？？大人も体験してみませんか？

森の中で、であう風、土、命・・・自然と向き合うと人は何を感じるのか？

自然の中で、人とであうと、何が起こるのか？

「子ども達の森のようちえんでは、あたりまえの日常」を大人も味わってみませんか？

野外にて少人数で、高原を探索します。心揺れる90分をご一緒に。

〔実行委員からのオススメポイント〕

子どもに野外遊びの楽しさや、主体性の意義を伝えるなら、大人の私自身が「森のようちえん」を実体験し、その魅力をたっぷり体感することが第一歩。

講師のかめちゃんこと寺田さんは、一緒にいると安心できて楽しくなっちゃう包容力満点の笑顔の持ち主です。かめちゃんと一緒に、「おとなの森のようちえん」を思いっきり楽しみませんか？

コミュニケーション×自然/野外/WS形式

エンパシーウォーク ～曾爾を歩こう～

講師：国立曾爾青少年自然の家スタッフ

「国立曾爾青少年自然の家」は、四季折々に姿を変えるススキの大草原に位置しています。また、兜岳、鎧岳、屏風岩といった山並みを眺めることができます。

こうした素晴らしい自然環境の中で、自然体験や集団宿泊体験などの様々な体験を提供しています。フォーラムでお越しいただいた皆様にも、この曾爾高原の自然を存分に味わってほしいと思っています。

〔分科会概要〕

10 月末の曾爾高原はススキの最盛期です。秋の爽やかな風に揺れるススキを見ながら、私たち職員と一緒に歩いてみませんか。

天気が良ければ、ススキの大草原や曾爾三山を一望できる亀山に登りましょう。

きっと皆さん、歩きながら、「曾爾の山々はなんでこんな形をしているの？」「なぜここにススキの草原があるの？」「この花何ていう名前なの？」というような様々な「なぜ？」「何だろう？」が浮かんでくると思います。「なぜ？」ばかりじゃなく、面白いものも見つけられるでしょうか。

それらを隣の人、仲間たちに伝えながら歩くことで、きっと新しい発見が待っていることでしょう。安全に、そして楽しく曾爾高原を散策してみましよう。

環境 × 体験/野外/WS 形式

プレイパーク体験

呼び起こそう 自分の遊び心を！「木で遊ぶ 草を滑る！？焚き火を知って 気づく場所」

講師:こたやん / (K+キッズ商会代表、プレイワーカー)

幼児・児童教育を学び、会員制の遊び場(雑創の森 プレイスクール)に14年間在籍後、2009年に独立。

プレイパークは、何があるか(設備)ではなく、子どもと立場の垣根を超えて向き合う場である。その心で、固定観念に捉われない活動を実践中。

〔分科会概要〕

こたやんと一緒に遊ぼう！ 愉しもう！！

まずやってみる。手を使う・からだを動かす。それから、考える。

プレイパークを「内側」から知ること、それぞれの持つ環境、手法、コミュニケーションの取り方など、現場ですぐに実践できるノウハウを習得できるプログラム。

★木にハンモック&ブランコ アルミ缶ごはん ふわっふわの焼き里芋 釘でナイフ vs 竹のペーパーナイフ ラッキーホルダー …愉しみは無限★

行政から法人、民間主導まで、あらゆる形のプレイパークに携わって来た実状と、子どもの遊びに不可欠なおとな=プレイワーカーの在り方、スキル、子どももおとなもワクワクする秘訣を知る。

〔実行委員からのオススメポイント〕

子どもはもちろん大人のファンも多い、京都を中心に25年以上ご活躍の「プレイワーカー☆こたやん」の魅力たっぷりのプレイパークを是非体験してください！！のびのびと「遊ぶチカラ」を発揮できるよう、あらゆる場面に対応できる準備と遊びにかけるエネルギー満載の実践分科会。思いっきり楽しみたい方はもちろん、これからプレイパークをやろうという方や子どもと関わりたい方にぴったりです！

環境×遊び/野外/WS 形式

「地球を生きるワークショップ」

地球は私・地球に触れ感じる生き方

講師：近藤瞳（コンドウヒトミ）

職業も趣味も “生きること、

中学生の時に映画「タイタニック」を観てディカプリオに一目惚れ。そんな小さなきっかけから17年間で126カ国を旅してきました。

旅の中で奇跡で生かされていることを体感し、そんな奇跡を多くの人と分かち合うべく、2年前から “地球を生きるワークショップ” を全国で開催。 “循環と共生をベースに生きる” が今であり、継続していきたいことです。

〔分科会概要〕

地球誕生46億年の歴史を、歴史や年表という机上の勉強ではなく、3時間自然の中を歩くことで体感して頂きます。地球や宇宙がどう誕生して私達は今生まれることができたのか。知識だけではなく数々の数奇な奇跡の上に今の自分が誕生したことを頭だけでなく全身で感じて頂く時間です。”奇跡は特別なものではなく、いつもあたりまえに側にあるもの”を感じられる温かい時間となりますように。

※13:30～17:00 までの連続講座となります。

〔実行委員からのオススメポイント〕

地球の成り立ちや宇宙の法則を知ることと、日々の暮らしは繋がっていて全ての延長線上に今があります。

森を歩きながら地球の壮大な歴史を体感し、今在る奇跡を全身で感じつつ、自然と調和する生き方を共有しましょう！

環境×体験/野外/WS 形式

《曾爾高原 de フォーラム》

《リニューアル》



●この分科会は講師の利根清子さんとお二人の分科会にリニューアルいたしました。

トエック流 聴き合う場のつくり方(子どもとの現場ひいては保護者やスタッフ間など大人との場づくりについて)

講師:伊勢達郎(イセタツロウ)/(NPO 法人自然スクールトエック)

TOEC 代表。徳島県阿南市出身。

学生時代よりカウンセリング・キャンプを学び、(財)青少年野外活動総合センター指導部を経て、1985年「自然スクール TOEC」を設立。個人やグループのカウンセリング及び、沖縄無人島キャンプなど、たくさんのフリーキャンプ(自由なキャンプ)を展開。90年「TOEC 幼児フリースクール(ようちえん)」、98年「TOEC 自由な学校(小学校)」を設立。社会に新しい学校のスタイルを発信・提案している。大学や看護学校の非常勤講師なども務める。

講師:利根清子(トネスガコ)/(トエック幼児フリースクール[トエックのようちえん])

沖縄県出身。たけのこ保育園系列で有名な自然保育園で保育士を経て、TOEC 幼児フリースクール創設メンバー。親御さんとの聴きあう場づくりや食育の場も担いながら、ようちえんの運営を行う。

〔分科会概要〕

自然の中で、自由に過ごし、主体性をはぐくむ育ちあいの場作りを…。高い理想を掲げていても、現場は具体的であり、思い通りにならない・何が起こるかかわからないところです。

様々な個性の子ども、強い願いや思いを持ちそれぞれの価値観を持つ親、そしてスタッフ。それらが孤立したり、傷つけあったりするのではなく、共に育ちあい自由になってゆく場づくりとは? 体験いっぱい学びあいましょう。

〔実行委員からのオススメポイント〕

子どもの話を聴くこと、スタッフ同士、保護者間、聴き合う事の大切さは十分に分かってはいるけれど、実際どうしたらいいのでしょうか?

トエックで日々実践されている場作りをワークショップ形式で実際に体感しながら、自分自身を見つめ、人と関わりあう事の本質を学び合う、珠玉の時間になるはずです!

コミュニケーション×フリースクール/室内/WS 形式

幸福度と子どもと大人のつながり ～ティール時代の新しい教育

講師:木村智浩(キムラトモヒロ)/(株式会社ガイアックス)

奈良県生まれ。早稲田大学卒業後、起業家輩出のガイアックスにて、人事採用、事業立ち上げに従事。4 児の父で、子どもたちは、教科書なし、テストなしの体験型学習中心の自由学校に通う。天外塾で、「ティール時代の教育と子育て」の講師。日本最大規模の保育者研修「保育アカデミー」運営。国家資格キャリアコンサルタント。

講師:大友剛(オオトモタケシ)/(Music & Magic)

ミュージシャン&マジシャン&翻訳家

自由の森学園卒業後、アメリカネバダ州立大学で音楽と教育を学ぶ。現在「音楽とマジックと絵本のコンサート」で国内外で活動。南アルプス子どもの村小中学校非常勤講師。オンラインセミナー【保育アカデミー】主宰。

〔分科会概要〕

「まず子どもを幸福にしよう。すべてはそのあとに続く。」A.S.ニール

モンテッソーリ教育、サドベリー、サマーヒルなど様々なオルタナティブ教育は、子どもの幸せに焦点をあてています。

大人も同じで、幸福度を高めると生産性 30%、創造性 300%UP するのです。

日本最大級のオンライン保育者研修を提供し、体験型学習の自由学校の保護者でもある 2 人が、自由教育の事例、研究結果と、ワークを通じてお届けします。教育のカリキュラムよりも大切なことを一緒に探究しましょう。

〔実行委員からのオススメポイント〕

幼児教育のその先である 20 代の若者たちを、人事の視点で見つめてきた木村さんが語る、リアルな日本社会の課題と幼児教育を結びつけた話には説得力があります。エンターテイメントで保育の世界を発信する大友さんとのコラボで、大人も子どもも幸せを感じる新しい教育、新しい社会に一步踏み出しましょう！

教育 × おとな/室内/講座形式

〈森のようちえん全国交流フォーラム in ぎふ からその後〉

行政とタッグを組むⅡ その時の実践者の心得～岐阜と鳥取の取り組みより～

講師：浅井智子(アサイトモコ)/(自然育児 森のわらべ多治見園)

一般社団法人 MORIWARA 代表理事・園長 保育士、幼稚園教諭・心理カウンセラー。

岐阜県初の森のようちえん「自然育児 森のわらべ多治見園」を創設。

現在も現場で実践を重ねつつ、園運営に必要なことを嗅ぎ分ける嗅覚と、人を巻き込みながら夢を実現していく実行力には自信あり。昨年森のようちえんのその先の選択肢として「大地組スクール」も開校。

講師：西村早栄子(ニシムラサエコ)/(特定非営利活動法人 智頭の森こそだち舎)

2009年に鳥取県智頭町の『森のようちえんまるたんぼう』をはじめ森のようちえんを2園と、卒園後の自由な学びの場『新田サドベリースクール』、移住者向けシェアハウス『はじまりの家』設立等、社会の中に『智頭こそだち』という選択肢を創るべく奮闘中

〔分科会概要〕

林業セクションの林政部が主導になって森のようちえんを後押ししてきた岐阜県。2019年には第15回森のようちえん全国交流フォーラムも岐阜県と実践者が協同で開催。大成功を収めました。そうした長年の働きかけと実績を認めていただき、福祉セクションが動き、2020年ついに森のようちえんも幼児教育・保育無償化の対象に。そうした岐阜県の動きを、岐阜県初の森のようちえんを主宰する園長・浅井智子がお届けします。

『行政と喧嘩しても1円にもならない』

経営者として森のようちえんに13年携わり思っている事です。元鳥取県職員だった経歴を活かして、行政への働きかけを行いながら、全国的に見ても画期的な森のようちえん支援制度である『とっとり森・里山等自然保育認証制度』を行政と一緒に設立した経験とノウハウ、行政との連携の仕方について私の経験をお話します。

2019年度の岐阜フォーラム以降の行政との連携について、現状と課題、今後の夢などもお話ししたいです。

〔実行委員からのオススメポイント〕

森のようちえん全国フォーラム in ぎふの実行委員長ともちゃん。ぎふフォーラムからその後、どんな進化をとげているのでしょうか？元県庁職員だったまるたんぼうのさえちゃん、智頭町、鳥取県との関係性を深めながら、移住促進を進め、地方創生にも貢献。次は国も視野に入れている？森のようちえん界きっての Powerful 代表・園長であるお二人の近況や目指すところ、聞いてみたいですよ！

行政・運営×連携/室内/講義 対談形式

子ども理解で保育が変わる ～15年間迷い続けた保育実践より～

講師：中島久美子(ナカジマクミコ)/(森のようちえんピッコロ)

幼児教育家 横浜・山梨県内の幼稚園・保育園に勤務後、子ども本来の姿を知りたいと2007年に森のようちえんピッコロを立ち上げる。子どもが自分で考え自分で決める保育スタイルが注目を集め、フリーペーパー「ちびっこぷれす」にコラムを連載中。地球元気村特別講師。

〔分科会概要〕

森のようちえんピッコロでは子どもを信じて待つ保育をしていますが、「信じる」も「待つ」も多様性があり、解釈によっては放任保育にもつながりかねず、15年間(今も)迷いながら子どもたちの前に立たせてもらっています。ただわかったことは子ども理解がとても大事だということで、それをしていたらとんでもなくすごい子どもたちの姿に腰が抜け、数々の保育の失敗例を含め、今までにわかったことをお伝えしたいです。

〔実行委員からのオススメポイント〕

保育の現場に立っていると、自分の関わり方やかけた言葉を「本当にこれで良かったのだろうか？」と振り返り、心を揺らす日々の中にいませんか？「正解」なんてないと分かっているながら探してしまうことも。子どもに関わるすべての大人の心に響くお話が広がっていきそうです！

自然保育×こども/屋内/講義形式

自然教育こそ最上の教育

講師: 春山慶彦 (ハルヤマヨシヒコ)/(株式会社ヤマップ)

1980 年生まれ、福岡県春日市出身。

同志社大学法学部卒業、アラスカ大学野生動物管理学部中退。2013 年に IT やスマートフォンを活用して、日本の自然・風土の豊かさを再発見する”仕組み”をつくりたいと思い、登山アプリ「YAMAP(ヤマップ)」をリリース。国内最大の登山・アウトドアプラットフォームに成長。

〔分化会概要〕

私たちは答えのない時代に生きています。自分で問いを立て、自分なりの答えをつくる力が、これまで以上に求められています。この時代における最上の教育は、自然経験だと私は思っています。登山経験や狩猟経験、起業経験を踏まえながら、この時代における自然経験の重要性について、一人称で共有できたらと思います。

〔実行委員からのオススメポイント〕

人と自然との関わりを取り戻したい。その想いから生まれた『YAMAP』春山さんが掲げたテーマ「自然こそ最上の教育」にはこれからの生きる力や幸福な教育や社会へと繋がる本質的なお話しが沢山つまっている事、間違いなし！！春山さんが語る「自然経験の重要性とは！？」ぜひ、お見逃しなく♪

教育 × おとな/室内/講義形式

「森のようちえん」から「小規模特認校」へ
～保幼小中、何がつながるといいの？

幸せな子ども時代の学びが、これからの時代を生きる力に～

講師：西澤彩木(ニシザワサイキ)/(一般社団法人びわ湖の森のようちえん せた森のようちえん)

一般社団法人びわ湖の森のようちえん代表理事・せた森のようちえん代表・滋賀ネットワーク代表。滋賀大学教育学部非常勤講師。学校園連携研究の経験をもとに、小学校、森の小学生クラスやスキニシー学校で学びをつなぐお試し中。子どもや保護者、教員仲間に地域の方、ごちゃまぜの焚き火ラボとお酒が幸せの源♪

講師：澤村幸夫(サワムラユキオ)/(大津市立葛川小・中学校)

現在、全国へき地教育研究連盟理事、近畿へき地教育研究会会長、滋賀県へき地少人数教育研究会会長を務めています。

滋賀県内で、公立の小学校・中学校に勤務して35年になります。

講師：山口美和(ヤマグチミワ)/(上越教育大学大学院)

上越教育大学大学院 准教授。専門は教育哲学・教育臨床学。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。

「信州型自然保育認定制度」の創設にかかわったことをきっかけに、自然保育の研究に携わる。長野県出身、長野県在住。家族はイケメンのネコ2匹。

〔分科会概要〕

幼児期と学童期の学びの違いと連続性について、自然や暮らしの中で心動き、思いを出し合い、遊びや生活を通して学ぶ、しが自然保育認定の「森のようちえん」と、学校林や豊かな自然環境の中での、子ども主体の教育活動や、自然を活用したアントレプレナーシップの育成をしている「小規模特認校」との連携をもとに考えます。

〔実行委員からのオススメポイント〕

森のようちえんのその先。自然や地域の魅力もさることながら、葛川小中の魅力は、子ども主体、少人数、異年齢の学び、ランチルームで小中の子どもみんな決めていく文化。そして小～中学へ継続していく KCL プロジェクト。失敗も学びの大事な要素と捉える先生。

しかも公立！ そんな選択肢があるのは幸せ♪ 幼小中連携、小さくも確かな一歩のお話です。

教育×幼保小連携/室内/講義形式

～子どもの「命」と「自由に遊ぶ権利」を守りたい～

事故ヒヤリハットに学ぶ、自然保育の安全・安心な場づくり

講師：渡辺直史(ワタナベナオフミ)/(ウィル)(プラムネット株式会社アウトドア共育事業部)
子どもに寄り添う大人のための学びの場(fieday.net/ac)を立ち上げ、小児救急法、発達障害、危険生物対策など、年 100 本以上の講座や研修を開催。自らも講師として”事故予防”と”活動のねらい”を両立させるリスクマネジメントを担当。

〔分科会概要〕

野外で実際に起きた重大事故の報告書から、どのような情報を引き出し、現場の安全につなげていくかについて、座学とワークショップで学びます。日々記録している事故やヒヤリハットの検証にもご活用ください。子どもの「命」はもちろん、「自由に遊ぶ権利」も守りたいと考えている皆さまにお勧めする分科会です。

〔実行委員からのオススメポイント〕

私たちが目指すのは、子どもの主体性「やりたい！」を大切にするための「リスクマネジメント」。可能性を狭めず、安全に自由度を UP するために私たちができることは何か？
それぞれの園や家庭での実践に繋がる分科会です。

運営 × 安全/室内/WS 形式

【おうち de フォーラム オンライン開催】
※日程等の詳細は後日お知らせいたします。



《おうち de フォーラム》

A-①〈森のようちえん全国ネットワーク連盟プログラム〉
森と子どものための本～実践者たちの“リアル”な知恵袋

講師：野村直子(ノムラナオコ)/(一般社団法人 new education LittleTree)

国内外で保育者として勤めた後、北海道で自然ガイド、森のようちえんの立ち上げなどを経験。小さな保育室園長を務め、現在は保育内容のコンサルティングや研修講師、全国の保育園・幼稚園等にて自然保育アドバイザーなどを行っている。近著に「小さな木 あるがままに子育て」雷鳥社

講師：上田融(ウエダトオル)/(NPO 法人いぶり自然学校)

子どもキャンプのリーダー、小学校教員、社会教育主事、NPO 法人ねおすを経て、現職。森のようちえんという手法を使って、どれだけ北海道の森林環境を維持管理できるか、あるいは利活用することができるかをテーマとした活動を展開している。

〔分科会概要〕

連盟から出された指導者向けの本の執筆を担当した二人が、どんな思いでこの本を作成したか、連盟理事たちが何を伝えたかったのか・をお話していきます。

そして、参加者みなさんからもどんな知恵を持っているのか、本の中で書かれている内容をピックアップしながら、それについてどう思うか？などをざっくばらんにお話しできたらと思います。この分科会に参加すると、本に書かれた知恵以上の知恵が得られるかも？！

〔実行委員からのオススメポイント〕

森のようちえんでの日々の遊びの様子や子どもとの関わり、保育計画やリスクマネジメント、活動後の振り返りなど、森のようちえん実践者たちの熱く、そして温かい言葉が紡がれています。

著者からの生の声が聴けるなんて！

森のようちえんや自然保育に興味のある方はもちろんですが、子どもたちの“自然”な姿、何よりも自分の中の“自然”に出会いたい方はぜひ！

自然保育×こども/室内/WS 形式、座談会

《曾爾高原 de フォーラム》

《リニューアル》



●この分科会は2ページの「幸せな人と場づくりの最前線！森のようちえんの保育から」へとリニューアルいたしました。詳細はそちらをご覧ください。

●各地で緊急事態宣言が出る中、検討を重ねた結果、保育分科会の保育を断念いたしました。分科会で保育を体験してもらった初めての挑戦で、それぞれが思いをもち取り組んでいましたが、こどもの感染対策は難しく、こどもへの負担を考え、コロナ禍のそれぞれの園の状況も踏まえ、安心・安全な保育の場づくりが難しくなりました。

保育分科会では「幸せな人と場づくりの最前線！森のようちえんの保育から」にて、自然のなかで、自由に過ごし語り合う中で、森のようちえんのエッセンスを感じてもらい、フォーラム後に、希望の方は各地域の森のようちえんで保育して学び合う分科会へとリニューアルいたします。曾爾で幸せな場を感じ、フォーラム後各園の保育で共に学びましょう！

A-②、B-② 幸せな人と場づくりの最前線！森のようちえんの保育を感じ合う！

講師：せた森のようちえん、森のようちえんどろんこ園、森のようちえんウィズ・ナチュラ
今回の森のようちえん全国フォーラムの実行委員長、副委員長の主宰園である、せた森のようちえん、森のようちえんどろんこ園、森のようちえんウィズ・ナチュラによる出張森のようちえん in 曾爾です！！

〔分科会概要〕

自然環境を舞台に、子どもたちと大人の幸せを追求する活動、森のようちえん！現場で森のようちえんの保育をしているスタッフと、現役森のようちえんっ子の日常に、保育スタッフとして入り込んでみませんか？共に幸せを追求し自分を生きる時間を過ごしましょう。

分科会 A・B 通しての活動となります。事前にオンライン交流と、活動計画、現地下見とリスクマネジメント、フィードバックを含めた森のようちえんの生活を実地で体感し、その後の自分との対話につなげていける分科会を目指しています。雨天時もレインウェアで野外活動を楽しみます。

※B-②と連続講座となります。

○事前に Zoom 交流会を行います。

○13時30分集合。14時まで現地下見を行います。

○さよならの会后、17時まで保育のフィードバックをします。

○分科会 A-②、B-②は通しとなります。

◆活動の流れ

13:30 集合し、顔合わせとフィールド下見。

14:00 保育開始

さよならの会が終わり次第、保育振り返り

17:00 解散

〔実行委員からのオススメポイント〕

森のようちえんをリアルに感じてもらいたい思いから、保育スタッフを体験してもらった初めての試みです。ライブな現場で活動して、一緒に保育した後、みんなで「自然」「主体性」「安全面」などを振り返り、保育を深めます。森の保育されたい方、森で待っています！

自然保育×体験/野外/WS形式

A-③ようちえんから小学校への「つなぎめ」ってみんなどうしてる？

～子どもたちの育ちを支えるチーム作り～

講師：岩瀬直樹（イワセナオキ）/（学校法人 軽井沢風越学園）

公立小学校で教員を22年勤めたのち、東京学芸大学教職大学院准教授として教員養成、教師教育に関わる。その後、学校づくりに。毎日順調に問題だらけです。

講師：青木将幸（アオキマサユキ）/（青木将幸ファシリテーター事務所）

ミーティング・ファシリテーター。家族会議から国際会議まで、あらゆる会議の進行役をつとめる。子どもの会議から経営者の会議まで、幅広く。軽井沢風越学園では評議員として、あるいはスタッフ研修を受け持つことも。

〔分科会概要〕

軽井沢風越学園のゴリといっしょに、ファシリテーターの青木マーキーが「つなぎめ」について、話し合う場を持ちます。子どもたちを支える大人が、どのようにチームになってゆけるのか？参加される皆さんと、私たちのたくさんの試行錯誤を語り合ひましょう。

〔実行委員からのオススメポイント〕

ゴリさんこと岩瀬直樹さん、マーキーこと青木将幸さんの夢のコラボ企画です！！

ゴリさんの言葉「毎日順調に問題だらけです。」に心が緩むのは私だけでしょうか？マーキーさんのモットー「あらかじめ用意された結論ではなく、その場で生まれてくるものを大切にします。」をリアルで体感したいと思うのは私だけでしょうか？ぜひ一緒に語り合ひましょう！

教育×おとな/室内/講座形式

A-④教育で持続可能な地域をつくる

講師：藤田美保(フジタミホ)/(認定 NPO 法人コクレオの森)

小学生の時、『窓際のトットちゃん』を読み、自由な学校に憧れる。その後、小学校教諭を経て大学院に進学し、市民による学校づくりを目指す。2004年に「わくわく子ども学校」(現：箕面こどもの森学園)常勤スタッフになり、2009年から箕面こどもの森学園校長。

〔分科会概要〕

住み続けられる持続可能な地域をつくるために、教育は、どうあればいいのか？ そのための森のようちえんの役割とは何なのか？

地域にとって、学校のもつ意味を参加者のみなさんと一緒に対話をしながら考えていきます。

〔実行委員からのオススメポイント〕

学校自治とは学校だけのものなのでしょうか？

異動することなく住み続ける住民だからこそ、関われることがあるのでは…

“民主的に生きる市民を育むこと”を目的に掲げる箕面こどもの森学園校長の藤田美保さんと、地域の持続可能性から見た教育が担うことを、ハートをオープンに♡対話形式でお話ししましょう！

教育 × 地域/室内/WS 形式

A-⑥遊ぶことは「生きること」 ～くう、ねる、だす、あそぶ～

講師：天野秀昭(アマノヒデアキ)/(NPO 法人園庭・園外での野育を推進する会理事長／認定NPO 法人プレーパークせたがや理事)

日本で最初の冒険遊び場「羽根木プレーパーク」で初代プレーワーカー。以来 40 年以上にわたり、子どもが遊び育つ「遊育」の価値を伝え続けてきた。保育園幼稚園等の園庭づくりや園と保護者の関係づくりにも積極的に取り組んでいる。

〔分科会概要〕

プレーパークで遊ぶ子どもの様子をスライドを交え紹介し、遊ぶことの本当の価値を伝える。「教える」「育てる」の「教育」から「遊ぶ」「育つ」の「遊育」へと大人の脳みそをシフトさせ、「遊んでいるだけでいいのか」という多く聞かれる疑問に「それ以上にやれることがない」と参加者がはっきり言えるようになって帰ってもらう。そのため、体の発達、脳の発達について切り込み、「遊ぶ」ことの底知れない奥深さを実感できる時間とする。

〔実行委員からのオススメポイント〕

優しい語り口の天野氏。プレーリーダーとして 40 年以上子どもと向き合ってきた“経験”と脳科学などに基づいた“知見”から、『遊ぶ』ということの本質に迫ります！

環境 × 育ち/室内/講義形式

●この分科会は5ページの「プレイパーク体験」へとリニューアルいたしました。
詳細はそちらをご覧ください。

A-⑧プレイワーカーのしごと プレイパーク体験 「遊び心を目覚めさせよう」

講師:こたやん / (K+キッズ商会代表 プレイワーカー)

プレイワーカー。幼児・児童教育を学び、会員制の遊び場(プレイスクール)に14年在籍。2009年独立。

「プレイパークは、環境ではなく子どもの時間と向き合う場」であるとの考えから、固定観念に捉われない活動を実践中。

〔分科会概要〕

野外で心身を開放して、先ず自らがプレイパークを実体験。

「プレイパーク」「プレイワーカー」2つのテーマを、現役生活25年超のプレイワーカーこたやんが、未来の可能性や実際の「場創り」について、現場で伝える。

行政から法人、民間主導まで、あらゆる形のプレイパークに携わって来た実状と、子どもの遊びに不可欠なおとな「プレイワーカー」の在り方、スキル、子どももおとなもわくわくする秘訣を知る。 ※セッションゲスト 調整中

〔実行委員からのオススメポイント〕

子どもはもちろん大人のファンも多い、京都を中心に25年以上ご活躍の「プレイワーカー☆こたやん」の魅力たっぷりのプレイパークを是非体験してください！！のびのびと「遊ぶチカラ」を発揮できるよう、あらゆる場面に対応できる準備と遊びにかけるエネルギー満載の実践分科会。思いっきり楽しみたい方はもちろん、これからプレイパークをやろうという方や子どもと関わりたい方にぴったりです！

環境×遊び/野外/WS形式

A-⑩森のようちえんと地方創生 ～地方の豊かな自然を活かす～

講師：浅野由子(アサノヨシコ)/(日本女子大学家政学部児童学科)

日本女子大学家政学部児童学科講師 乳幼児期の保育、環境教育、持続可能な開発の為の教育について研究 幼児期にスウェーデン1年間滞在。成人後、スウェーデンでの研究・教員生活を15年間経験し、スウェーデンとの比較の視点で、保育やまちづくり、SDGs を中心に研究を進めている。ウプサラ大学、オレブロ大学にて、客員研究員やプロジェクトマネージャー、ウプサラ市私立就学前学校で教諭として3年半勤務。

講師：坂本祐子(サカモトユウコ)/(群馬県立県民健康科学大学)

主に群馬県内の大学等で非常勤講師をしています。家族社会学や地域社会学を専門にしていますが、小学生2児の母でもあり、自身の子育ての経験からも自然保育の魅力の大いに感じています。

〔分科会概要〕

特色ある保育の取り組みが、子育て世代の移住を促し、子どもを中心にした自然豊かな地域環境が人とのつながりをつくり、住みやすさにつながるのではないだろうか。地域における保育イベントやマルシェなどにより地域住民とのつながりもでき、地域の課題解決につながるコミュニティ・ビジネスをも生み出すことができる。データと先進事例の取り組みから今後の森のようちえんと地域創生の可能性を一緒に考えていきたい。

〔実行委員からのオススメポイント〕

近年、森のようちえんを目指して移住する子育て世帯が増えました。森のようちえんがその地域の持続可能な未来の一旦を担う事例がたくさん生まれています。子どもも大人も地域も育ち、発展する。そこにはどんなヒントがあるのでしょうか？

運営×地方創生/室内/講義形式

《曾爾高原 de フォーラム》

《リニューアル》

●このフォーラムは伊勢達郎さん、利根清子さんお二人の分科会にリニューアルいたしました。詳細は7ページをご覧ください。



B-④聴き合う場が育ちあう場をつくる

(田んぼと畑のようちえん トエック幼児スクールの日常)

講師: 利根清子(トネスガコ)/(トエック幼児フリースクール[トエックのようちえん])

沖縄県出身。たけのこ保育園系列で有名な自然保育園で保育士を経て、TOEC 幼児フリースクール創設メンバー。親御さんとの聴きあう場づくりや食育の場も担いながら、ようちえんの運営を行う。

講師: 渡辺有紀(ワタナベユキ)/(NPO 法人自然スクールトエック)

神奈川県出身。環境教育を行うNGOに所属しながら、日本環境教育フォーラムの自然学校指導者養成講座を受講後、トエックのOJT研修生を経て現在。NPO法人のマネジメント全般にも携わる。

〔分科会概要〕

田んぼと畑のようちえんって、どんなところ？日々の子どもたちの様子、創設以来大切にしていることは？子どもというより、親が育つそのユニークな取り組みなど、現場スタッフの生の声を届けます。

〔実行委員からのオススメポイント〕

「ほめない 叱らない 認める教育」のトエックとは、実際どんな保育、教育をしているのでしょうか？スタッフとして長く携わり、今も現場で子ども達と関わり活躍されているお二人によるワークショップです。聴き合う、育ちあう場とは？その実践を体感できる貴重な機会となるはずです！

※参加者やワークショップで行う事例などにより、内容が変わってきます。

コミュニケーション×おとな/室内/WS形式

B-⑤つながりの教育 コネクションプラクティス
 ～本当の望みからのコミュニケーション～

講師：鈴木明菜（スズキアキナ）/（一般社団法人さつきやま森の学び舎）
 さつきやま森の学び舎スタッフ2年目、6才女兒の母。2016年 日本第1期コネクションプラクティス認定トレーナー<ラスール>取得。NVC 基礎・実践コースオンライン講座修了。コネクションプラクティス基礎コース。子どもへの声かけとNVC オンライン講座第1&2期共催。2020年より月一回<聴き合う会>を学び舎拠点にて共催。その他リクエストで講座、ワークショップを開催。

講師：藤澤絵美子（フジサワエミコ） /（一般社団法人さつきやま森の学び舎）
 大分県生まれ。大阪外大卒後、IT企業に勤め、退職後3人の子育てに専念。2017年～さつきやま森の学び舎勤務。2018年～2年間NVC 学び合いの会 in 京都に通う。2019年～2020年コネクション・プラクティス基礎コース・ファシリテータートレーニング修了。ラスール（講師）認定。2021年子どもにコネクション・プラクティスを伝える子ども向けカリキュラム講師、カリキュラム講師認定。コア・トレーナー（コネクションプラクティス・コア講師）認定。

〔分科会概要〕

友達とケンカした。
 折り紙で好きなものが折れた。
 友達のように上手にできなかった・・・
 子どもたちが毎日経験することは、新しいチャレンジと嘆きとお祝いと成長の連続です。コネクション・プラクティスは自分で自分に共感したり、人に共感したりできる、心の応急処置法であり、自分がどんな行動計画を立てたらよいか明確になる、効果的なコーチングです。子どもたちが自分にも相手にも思いやりを与えられる人になってほしい、自分にぴったりの幸せを思い描き、そこに向かって力強く選択し、前進して行ってほしい。そのために周りの大人たちが知っていてほしいコミュニケーション・スキルです。

〔実行委員からのオススメポイント〕

感情にまかせて吐き出した気持ちをふと見つめて眺めてみる。“わたしの本当の望み、ってなんだろう？自分の事を一番知らないのは、実は自分だったりするのですね、。本当の自分の気持ちを知る＝自分とつながること。自分とつながって初めて、相手とつながれるんだ。“本当の望みからのコミュニケーション、始めてみませんか？さつきやま森の学び舎でのリアルなエピソードも楽しみ！

コミュニケーション×教育/室内/WS形式

《おうち de フォーラム 》



《リニューアル》

●テーマの変更を予定しております。

B-⑥ゲームで体感 SDGs ～子どもたちの未来をてらすために～

講師：門川良平(カドカワリョウヘイ)/(すなばコーポレーション株式会社)

ベネッセコーポレーションにて教材開発・広告戦略を担当。退職後、小学校教員免許を取得し公立小学校教員へ転身。その後、出版社にて学習事業のプロデューサーをつとめる。2019年すなばコーポレーション株式会社を創業。学習ゲーム・学習マンガなどを開発。教育を軸に企業・自治体と連携を進めている。

〔分科会概要〕

いまや誰もがスルーすることのできないワード「SDGs」。

持続可能なって？をシンプルに子どもから学べる(門川氏独自開発)カードゲームを通して世界を持続させるために何が必要か、自分自身がどのような行動をとらなければいけないのかをシンプルに体感できるワークです。

ゲームだけで終わらせずに、日常の行動に生かすにはどうしたらよいかなど考えるきっかけになります。

〔実行委員からのオススメポイント〕

持続可能な世界という大きなテーマを、頭で理解するのではなく、カードゲームでわかりやすく、楽しく学べます。多様な価値観を認め、幸せな社会を願い、自ら考え、行動する森のようちえんと、SDGs は繋がっています。さあ、一緒に SDGs を体感しましょう！

環境 × SDGs / 室内 / WS 形式

《曾爾高原 de フォーラム》

《リニューアル》

●この分科会は5ページ「プレイパーク体験」へリニューアルいたしました。
詳細はそちらをご覧ください。



B-⑧プレイワーカーのしごと

プレイパークの可能性 「遊びの渦を広げよう」

講師: こたやん / (K+キッズ商会代表 プレイワーカー)

プレイワーカー。幼児・児童教育を学び、会員制の遊び場(プレイスクール)に14年在籍。2009年独立。

「プレイパークは、環境ではなく子どもの時間と向き合う場」であるとの考えから、固定観念に捉われない活動を実践中。

〔分科会概要〕

野外で心身を開放して、まず自らがプレイパークを実体験。

「プレイパーク」「プレイワーカー」2つのテーマを、現役生活25年超のプレイワーカーこたやんが、未来の可能性や実際の「場創り」について、現場で伝える。

行政から法人、民間主導まで、あらゆる形のプレイパークに携わって来た実状と、子どもの遊びに不可欠なおとな「プレイワーカー」の在り方、スキル、子どももおとなもわくわくする秘訣を知る。 ※セッションゲスト 調整中

〔実行委員からのオススメポイント〕

子どもはもちろん大人のファンも多い、京都を中心に25年以上ご活躍の「プレイワーカー☆こたやん」の魅力たっぷりのプレイパークを是非体験してください!! のびのびと「遊ぶチカラ」を発揮できるよう、あらゆる場面に対応できる準備と遊びにかけるエネルギー満載の実践分科会。思いっきり楽しみたい方はもちろん、これからプレイパークをやろうという方や子どもと関わりたい方にぴったりです!

環境×遊び/野外/WS 形式

**B-⑨自治体による「森と自然を活用した保育・幼児教育」の新たな支援のゆくえ
～認定制度のこれまでとこれから～**

講師：木俣知大(キマタモヒロ)/(上田女子短期大学研究員)

1977年東京都生まれ。東京農業大学大学院修了。前職の(公社)国土緑化推進機構在職時に、鳥取県・長野県等が参画した研究会の設置・運営等を経て、「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」の設立に連携団体として参画。設立記念シンポジウムやラボ、連続セミナー等を共催。主な著書に「森と自然を活用した保育・幼児教育ガイドブック」「森の幼稚園」(いずれも風鳴舎 2018)など。

講師：久永聖道(ヒサナガキヨミチ)/(鳥取県子育て・人材局子育て王国課)

鳥取県職員。令和3年4月から子育て王国課に配属。自然を楽しむアウトドアでの活動が趣味で、休日は3人の子ども達を連れてキャンプ場等にでかけている。

講師：宮下尚子(ミヤシタナオコ)/(長野県県民文化部こども若者局こども・家庭課)

長野県職員。これまで本庁、現地機関で保育行政に従事経験有。令和2年度より現在の所属。

講師：三保花織(ミホカオリ)/(広島県 健康福祉局 安心保育推進課)

広島県では、認可形態を問わず、活動内容に着目して自然保育をされている園を研修や情報発信などでサポートする自然保育認証制度という事業を行っています。フォーラムではいろいろなお話を聞いて勉強させていただけたらと思います。

講師：西村辰也(ニシムラツヤ)/(滋賀県琵琶湖環境部森林政策課 交流推進係)

平成21年に林業技術職員として滋賀県入庁。治山・林道等の公共事業を経験した後、(一社)滋賀県造林公社にて、木材生産等の森林経営に携わる。令和3年度より「しが自然保育認定制度」を担当。

〔分科会概要〕

「森と自然を活用した保育・幼児教育」に関する独自の認定・認証制度を創設している鳥取県・長野県・広島県・滋賀県の担当者が勢ぞろい！

各県の認定・認証制度の創設の背景や具体的な仕組み、認定・認証制度を核とした多様な支援策や特色のある取組事例等をご紹介します。

さらに、参加者の皆さまからの質疑応答やディスカッション等を通して、公民連携による「森と自然を活用した保育・幼児教育」の社会化方策を議論します。

〔実行委員からのオススメポイント〕

地域によって課題はさまざま。自治体が独自にそれまでなかった認証制度を創設した道のりもそれぞれです。行政のスイッチをオン♪できるあれこれが聞けるチャンスですよ～♪

行政・運営×森のようちえん/室内/講義形式

B-⑩〈森のようちえん全国ネットワーク連盟プログラム〉

森のようちえんの安全

講師: 萬谷久雄(ワラガイヒサオ)/(NPO 法人 国際自然大学校 理事)

NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟 事務局長

40 年来、野外活動(教育)、自然体験活動を実践してきました。幼児期の子どもたちに独創的で、創造的な自然体験活動が提供できるようにしたいと、森のない、都会型森のようちえんをどのように提供できるか、方向性を見出せるか？

講師: 沼倉幸子(ヌマクラサチコ)/(一般社団法人森のようちえんはっぴー)

NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟理事

私立幼稚園に 11 年勤務。一旦は保育の世界から離れたが、もう一度子どもの世界に戻りたいと考え始めた頃、森のようちえんの存在を知り、それまでの保育の世界観がひっくり返った。保育者主催の森のようちえんを運営。

〔分科会概要〕

森のようちえん全国ネットワーク連盟では、野外保育や自然体験活動の安全・知識を普及促進し、森のようちえん活動が安全に行われ、子どもたちの健やかな成長を支援することを目的とした「森のようちえん団体安全認証制度」に取り組んでいます。なぜ安全管理が必要なのか、保険に入らなければならないのか。この認証制度を利用して良いことがあるのだろうか。認証制度について知りたい方は、ぜひご参加ください。また当連盟で収集しているヒヤリハットなどの情報もお伝えいたします。

〔実行委員からのオススメポイント〕

子ども達が「安全」に過ごせる環境が本当に安全？

自然の中に限らず、あらゆる場所で自分の肌で危険を感じて回避する、「自分で自分の身を守る」ことが大前提。

では大人が出来る事、やるべき事とは？

団体安全認証制度を作り、より子ども達の未来を守る為に活動されている安全認証部会のお二人のお話、必聴です！

運営×安全 / 室内/講義形式

C-① 幼児期における自然体験が脳の発達に与える影響

～脳科学からみた森のようちえんにおける子どもたちの育ち～

講師：渡邊 宣明（ワタナベノリアキ）／（藤枝市立青島東小学校教諭）

公立小学校教諭(学級担任、初任者指導、特別支援コーディネーター、保幼小連携等)として31年勤務しながら、20年以上にわたり子どもの育ちを大脳前頭葉の発達という観点から研究。

(日本体育大学期限付き一般研究員等)。7年前からは、幼児期における自然体験活動に注目し、子どもの脳の発達に及ぼす影響について研究。(明星大学通信制大学院教育学研究科 教育学修士・信州大学大学院総合医理工学研究科 博士課程在学中)

〔分科会概要〕

近年における子どもたちの自然体験の減少をはじめ子どもたちの生活体験の急激な変化が、「集中力がない」「落ち着かない」「無気力」など子どもたちの行動や育ちに様々な影響をあたえることが懸念されている。そこで、本分科会では、幼児期における自然体験が子どもの育ちにあたえる影響について、自然体験を大切にしている信州型自然保育認定制度特化型に認定されている園を対象に行ったGO/NO-GO課題調査の結果から実証的に検証し、幼児期における自然体験の意味を考えていきたい。

〔実行委員からのオススメポイント〕

現役の公立小学校の先生である渡邊さんが、森のようちえんの子どもたちの育ちに与える影響を調査し、エビデンスとして発表してくださいませ。近年小学校の現場で問題となっている「小1プロブレム」や「学級崩壊」にも自然体験は有効だとか。なんと「脳」の育ちにヒントがあるのですね、。。
ふむふむ。

自然保育 × エビデンス/室内/講義形式

C-②今、岐阜の公立保育園がオモシロい！

～関市公立保育園スーパー保育士集団「チーム森」× 美濃加茂市「里山保育士(仮)」× 「ぎふ木育」の事例から～

講師：乾千穂(イヌイチホ)/(関市立洞戸保育園)

関市の子どもたちが、自然の中でキラッと輝き、あそびきる子になって欲しいという思いで「チーム森」を結成。何でもやってみたい！子どもみたいな大人、只今フィールド開拓・整備に奮闘中。

講師：今井英里(イマイエリ)/(美濃加茂市立山之上こども園)

公立園で6年勤務した後、岐阜県立森林文化アカデミーに入学。2021年4月より美濃加茂市立山之上こども園に勤務しながら、“里山保育士(仮)”として、日々奮闘中！

講師：萩原ナバ裕作(ハギワラナバユウサク)/(岐阜県立森林アカデミー「morinos(モリノス)」)

森と人をつなぎたいへんなおじさん?? もっと知りたい人は、以下リンクを見てね。

<https://www.forest.ac.jp/teachers/hagiwara-nava-yusaku/>

講師：鈴木知之(スズキトモユキ)/(岐阜県立森林文化アカデミー 森林総合教育センター「morinos」)

「すべての人と森をつなげる」がコンセプトの morinos の立ち上げ、運営をナバさんと一緒に担当している岐阜県職員です。森を楽しむ、森で成長する子どもや大人の皆さんと一緒にいたら、ますます森にはまってきました！

講師：河合高志(カワアイタカシ)/(ぎふ木遊館)

語って、歌って、走って、踊って、演じて、料理が趣味の岐阜県職員です。

今は、ぎふ木遊館にて、ぎふ木育の魅力を伝える仕事をしています。

〔分科会概要〕

今、岐阜の公立保育園がオモシロいらしい！

- ・森の中でフル活動するスーパー保育士集団「チーム森」とは？
- ・全国発！「里山保育士(仮)」はどのようにして誕生したのか？

“森と人をつなぎたいへんなおじさん”ことナバさんとたかっしー&スージーの県職員コンビ、“里山保育士(仮)”今井英里、“チーム森”リーダー乾千穂が数々のエピソードを交え、参加者も巻き込んで語り合うトークセッション。

〔実行委員からのオススメポイント〕

公立園だから、認可園だからできないのではなく、公立園だから、認可園だからこそできる“森のようちえん”がある！「チーム森」って？「里山保育士(仮)」って？「森と人をつなぎたいへんなおじさん」って？！
気になるワードが盛りだくさんの岐阜県から目が離せない！
大人にとっても子どもにとっても幸せな保育、教育とは？
保育士さんや学校の先生、行政の皆様におススメです！

自然保育×行政/野外/座談会

C-③命と遊ぶ園庭作り

講師：小泉昭男(コイズミアキオ)/(小泉造園代表・京都女子大学 非常勤講師)
保育士資格、幼稚園二種免許。一級ビオトープ施工管理士。環境再生医上級自然再生士。
著書『園庭大改造』ひとなる書房。

『園の身近な生き物に出会う探険マップ』かもがわ出版

『子どもの観る目をはぐくむ探険ブック』かもがわ出版

ナビゲーター：京都自然保育ネットワーク

自然の中での自主性を育む活動は子どもにとって重要であり、自然と触れ合いながら多くの体験ができる野外保育、自然教育活動の意義を深く学び合うことに賛同する京都府内の団体等で設立。(K+キッズ商会、NPO 法人こそだてママ net☆、里山保育やまぼうし、保育のベースキャンプはらっこ、地球とあそぶひみつきち、森のようちえんどろんこ園、林業女子会@京都、ティンカーベルなみ 2 自然学校、京都やましろ環境教育ネットワーク、やまぐに)加入団体募集中

♪<https://www.facebook.com/kyotoshizenhoiku/>

〔分科会概要〕

園庭を、運動場から自然との共生の場に変え、子どもにたっぷりのセンス・オブ・ワンダーを！
保育士として現場で子どもたちと向き合ってきた経験から造園業として全国各地の園庭を命の営みを感じられる環境にプロデュースする小泉昭男氏の自然観、子ども観について。

〔実行委員からのオススメポイント〕

小泉さんの講演会をお聞きしたのは 2 年前、短い時間でしたが私の心はぐぐっと引き寄せられてしまいました。“園庭がかわれば保育が変わる”とはどういうことか。そして“今だからこそ大切なこと”は何か。既存園でもできることは沢山あるなど、様々なヒントをいただけるのではないのでしょうか。

自然保育 × 運営/室内/講義形式

C-⑤保護者と育てるあなたの縁♡園

～保護者が輝くとき ばななが一皮むいちゃいます！～

講師:小埜 雅多加(コバナワマサタカ) / (「それでいいの学校」よかよか学院)

「それでいいの学校」よかよか学院 校長、あり方スクール講師。

児童文学作家。元小学校教諭。小学校教諭時代に、小学生の自己肯定感の低さに悩み、自分を好きになる教科「自分科」「かかりのじかん」を考案。子どもの通訳、お母さんの応援、対立する価値観の仲直らせ、その人らしさの発見、自己表現のお手伝いを独自の視点と観察力で行う。全国各地でお話会や講座を500本近く開催、こどもから大人まで全ての人に「それでいい」を伝え続けている。

〔分化会概要〕

保護者と保育者の間にあるトラブル、その解決方法についてのお話と皆さんらしい保護者との友好関係の作り方をワーク形式にて行います。

〔実行委員からのオススメポイント〕

自分でも気づいていないその人らしさを発見する名人、通称「ばなな先生」。全ての人に「そのままいい」を伝え続ける中で、「みんな違う」人たちが分かち合い、認め合う関係性作りのお手伝いをされています。各園や家庭はもちろん、様々な場で関係性作りのヒントが満載です。

コミュニケーション×おとな/室内/講義形式、WS 形式

●この分科会は5ページ「プレイパーク体験」へとリニューアルいたしました。
詳細はそちらをご覧ください。

C-⑧プレイワーカーのしごと

プレイパークを創る「そこがプレイパークだ！」

講師:こたやん / (K+キッズ商会代表 プレイワーカー)

プレイワーカー。幼児・児童教育を学び、会員制の遊び場(プレイスクール)に14年在籍。2009年独立。

「プレイパークは、環境ではなく子どもの時間と向き合う場」であるとの考えから、固定観念に捉われない活動を実践中。

〔分科会概要〕

野外で心身を開放して、先ず自らがプレイパークを実体験。

「プレイパーク」「プレイワーカー」2つのテーマを、現役生活25年超のプレイワーカーこたやんが、未来の可能性や実際の「場創り」について、現場で伝える。

行政から法人、民間主導まで、あらゆる形のプレイパークに携わって来た実状と、子どもの遊びに不可欠なおとな「プレイワーカー」の在り方、スキル、子どももおとなもわくわくする秘訣を知る。 ※セッションゲスト 調整中

〔実行委員からのオススメポイント〕

子どもはもちろん大人のファンも多い、京都を中心に25年以上ご活躍の「プレイワーカー☆こたやん」の魅力たっぷりのプレイパークを是非体感してください！のびのびと「遊ぶチカラ」を発揮できるよう、あらゆる場面に対応できる準備と遊びにかけるエネルギー満載の実践分科会。思いっきり楽しみたい方はもちろん、これからプレイパークをやろうという方や子どもと関わりたい方にぴったりです！

環境×遊び/野外/WS形式

C-⑩森のようちえんを10年つづけてきた園長と税理士の話
～経営どうしてる？本音トーク！～

講師：堀龍市(ホリリュウイチ)/(堀龍市 税理士事務所)

成功する社長の考え方を知るために、税理士を目指しました。現在は「中小企業の社長と従業員とその家族が幸せになれば、世の中が幸せになる」を合言葉に、顧問先の売上向上と税金対策に携わっています。

講師：木村太郎(キムラタロウ)/(一般社団法人さつきやま森の学び舎)

大阪の池田市で活動している、さつきやま森の学び舎の園長。もう一つの仕事が世界中を飛び回っているの、通称「空飛ぶ園長」と呼ばれています。「やりたいことだけして生きていく」を実践しながら人生を謳歌しています。

〔分科会概要〕

森のようちえんを経営する。なんか小難しい話に聞こえますが、実際は、非常にシンプルなこと。学び舎が生まれてからずっと一緒に歩んできている、園長と税理士がなんでここまで進んでこれたのかをお話します。

あなたの夢へのパワーを経営にも生かしていく。そのためのコツを掴んでいただければと思います。環境教育の現場ではあまり語られてこなかったお金の話に切り込んでいきます。

〔実行委員からのオススメポイント〕

堀さんの税理士事務所に行く事が毎回楽しみだという太郎さん。税金に関する事だけでなく、多くの経営者、起業家の方々と日々接して感じた「今」必要な社会を見る視点など、多くの学びの時間にもなっているそうです。

スタッフが働きやすく、言いたい事を言い合える場をつくっていく事が、こども達の幸福にも繋がっていく・・・そんな幸福度が高まる森のようちえん経営とは？ 経営、運営の悩みや質問をお二人と一緒に話し、ざっくばらんに本音で語り合う、貴重な時間になるはずです！

運営×森のようちえん/屋内/講義形式